

夏の企画展

コミカライズで知ろう！

# 戯作の世界

江戸生艶気樺焼／山東京伝他



いずみ朔庵 著  
**「マンガでやさしくわかる  
江戸の娯楽本」**  
 (日本能率協会マネジメントセンター)  
 NHK大河ドラマ『べらぼう～つたじゅうえいがのゆめぼなし 蔦重栄華乃夢嘶～』  
 で大注目の戯作のコミカライズ作品と原書を比較  
 しながら展示します。 ※期間中は書籍の販売もいたします。

2025  
**7月19日(土)～**  
**8月17日(日)**  
 9:00～21:00  
 休館日：8月4日(月)

**会場**  
**江東区古石場文化センター 1Fロビー**  
 〒135-0045 東京都江東区古石場2-13-2 **入場無料**  
 TEL:03(5620)0224 FAX:03(5620)0258

**【著者トークショー】**  
**べらぼうに面白い戯作の挿絵**  
 8月2日(土) 14:00～15:30 **前売り 1,500円**  
 会場：2F 第1・第2研修室 ※詳細は裏面をご覧ください

**いずみ朔庵** さくあん プロフィール  
 イラストレーター・江戸文化喧伝家。  
 御茶の水美術専門学校非常勤講師。  
 山本一力、宮部みゆき、西條奈加、松井今朝子、澤田瞳子等の時代小説の装画や挿絵を手がける。江戸文化に強く魅せられ、その面白さを広める活動もしている。著書に「財布でひも解く江戸あんない～マンガで巡る江戸時代の暮らしと遊び(誠文堂新光社)」「ウチの江戸美人(晶文社)」ほか。TV・ラジオ等へのメディア出演も。



# べらぼうに面白い 戯作の挿絵



きらざり

江戸時代の浮世絵と言えば多色刷りや雲母摺を施した絢爛豪華なものが有名ですが、人々の日常に溶け込んでいたのは本などに描かれた「挿絵」でした。

江戸の娯楽本「戯作」にはさまざまな挿絵が使われています。ユーモアあふれる人々や荒々しい合戦、深川にゆかりのあるシーンなどを、『マンガでやさしくわかる江戸の娯楽本』の著者が紹介。見どころポイントなどを解説します。

**前売り** 1,500円 **当日** 1,800円

日 時：2025年8月2日（土）14:00～15:30

※トークショー後に書籍の販売、著者のサイン会あり

会 場：江東区古石場文化センター 2F 第1・第2研修室

定 員：40名 ※定員に達した時点で締め切らせていただきます

予約申込：電話 **03(5620)0224**

窓口 受付時間 9:00～21:00

Web <https://www.kcf.or.jp/furuishiba/event/>



公益財団法人 江東区文化コミュニティ財団

## 江東区古石場文化センター

9:00～22:00 (展示は21時まで) 休館日：第1・3月曜日 (祝日の場合は開館)

〒135-0045 東京都江東区古石場2-13-2

TEL：03(5620)0224 FAX：03(5620)0058

交通アクセス

**電車** 東京メトロ東西線「門前仲町」駅下車 出口2 徒歩 10分  
都営地下鉄大江戸線「門前仲町」駅下車 出口4 徒歩 15分  
JR 京葉線「越中島」駅下車 出口3 徒歩 10分

**バス** (都 07) 錦糸町駅←→門前仲町「富岡一丁目」下車 徒歩 7分  
(門 33) 亀戸←→豊海水産埠頭「越中島」下車 徒歩 10分  
(東 22) 錦糸町←→東京駅丸の内北口「富岡一丁目」下車 徒歩 7分

